

JOUEN

夏号 Vol.19

2021 7月 July 伝燈院赤坂浄苑

新たな出会い、新たな体験、新たな発見
伝燈院と皆様をつなぐ「JOUEN」です

JOUEN

令和三年七月一日発行

伝燈院赤坂浄苑

東京都港区赤坂4-2-32 TEL:03-3568-1853



つのだ けんりゅう
角田 賢隆 副住職
ご挨拶

購入した理由や趣味の広がり
ご契約者様インタビュー

赤坂浄苑が おすすめする
散策マップ

赤坂浄苑イベント報告

お盆は、日本の良き伝統・文化

赤坂浄苑 提携葬儀社のご紹介

伝燈院 赤坂浄苑 行事紹介



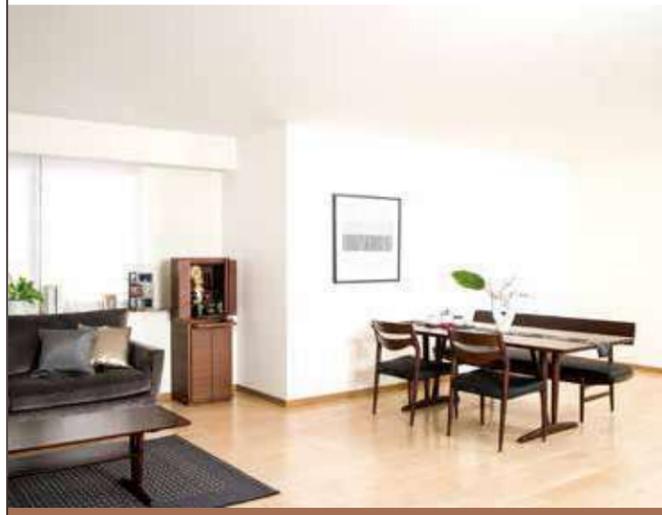
はせがわ
つなぎます。心と、いのちと、人。

LIVE-ing
はせがわ
リビング・コレクション

ともに生きる。
いつも近くで。



大切な人を近くに感じて暮らすために、
はせがわが国内の家具専門メーカーと
ともに作り上げた仏壇コレクションです。



HK Shelflex
エイチケイ シェルフレックス

はせがわ
karimoku

GOOD DESIGN AWARD
2017年度受賞



CONTENTS

01P 伝燈院赤坂浄苑
副住職 角田賢隆 ご挨拶

03P ご契約者様インタビュー
地元の赤坂で見つけた。
人と人との絆を感じる場所



05P 赤坂浄苑がおススメする散策マップ

07P 赤坂浄苑 イベント報告

08P お盆は、日本の良き伝統・文化

09P 赤坂浄苑 提携葬儀社のご紹介

10P 伝燈院 赤坂浄苑 行事予定

伝燈院赤坂浄苑 副住職 角田賢隆

ご挨拶

いよいよ夏本番を迎えますが、皆さまお元気にお過ごしでしょうか。有事といえども季節は巡り、早いもので今年も半分を過ぎてしまいました。夏になりますと七月・八月の地域による違いがありますが仏教で重要な行事の一つである「お盆」を迎えます。

ほとんどの方が「お盆」は仏教行事だと思いのことですが、実は発祥は神道であると言われております。「盆と正月が一緒に来たようだ」ということわざがあります。これは「神さま」との結びつきが大きくかかわっております。「お正月」はその年の豊作をもたらす「年神さま」をお迎えしてもてなす大事な行事ですが、この「年神さま」はご先祖さまの生まれ変わりとされる信仰があります。また日本では古くから一年を二つに分ける考え方があり、神社では六月の末と十二月の末に「大祓」という半年の罪や穢れを祓うお清めの神事を行います。そのうえで「神さま」(ご先祖さま)をお迎えいたしますので一月と七月に先祖を供養する風習は大昔からあったわけでございます。

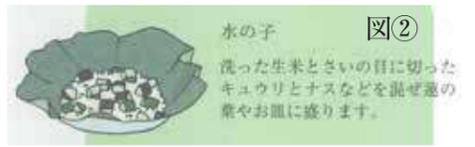
仏教における「お盆」は「五蘭盆」といい、簡単に説明すると「施餓鬼」でございます。「餓鬼」(※図①)とは「六道輪廻」で語られる地獄の一つ「餓鬼界」に落ちた哀れな亡者を指します。生前欲深かったものが落ちる世界とされており常に飢えと渇きに苦しむ世界でございます。仏教ではこの哀れな亡者に対しても施しの心を持つように説きます。これは大切な教えの一つである「自利利他」の行いであり、他者の幸せを願う行為が自身の幸せにつながるという尊い教えでございます。餓鬼を供養する功德(善行)をめぐるせ、大きな力として先祖を供養するのがお寺で行うお盆供養でございます。「盂蘭盆」は主に旧暦の七月十五日に行われておりましたが、これが神道で行われていた七月の先祖供養と結



図①

びつき今の「お盆」になったと言われております。

「餓鬼供養」で代表されるものの一つに「水の子」※図②がございます。茄子と胡瓜を細かく切り、お米と水を混ぜたものでございませが、これはまさしく「餓鬼」に施すための供物であり、飢えと渇きで喉が細くなった餓鬼にも食べやすいようにとの配慮でございます。また、お水を供え一緒に「みそはぎ」という植物を供えますが、この植物は喉の渇きを抑える作用があるため餓鬼に供えるという考えがある一方で、漢字で「禊萩」と書かれるように、前出の「大祓」で使用される穢れを清める植物だったのかもしれない。



図②

水の子
洗った生米とさいの目に切ったキュウリとナスなどを混ぜ煮の煮やお粥に盛ります。

「八百万の神」と言うように、神道ではその土地々々で様々な信仰があり、先祖の迎え方や行事は元々千差万別でございます。伝承の形骸化や仏教の「餓鬼供養」も合わさったことでさらに準備で戸惑うケースが増えております。

しかしながら一番大切なのはご先祖さまをお迎えしなくてもなすということでございます。七月でも八月でもどちらでも構いませんので、盆棚が無理ならテーブルで、迎え火送り火が難しければ提灯だけでも、昔ながらのお供えも準備していただき、古いご先祖さまにも目を向け、ご自身の出来る範囲でおもてなしいただければよろしいかと思っております。

空前のブームとなりました漫画「鬼滅の刃」で、主人公は敵である「鬼」にまで憐れみを持ち接しておりました。それが人々の心を打ちヒットしたのではないのでしょうか。余裕がございましたら仏教の「餓鬼供養」も伝承していただき、子供たちに人の幸せを願う大切さを伝えていただけましたら有難く存じます。

お盆の習わしについては仏教以外の部分が多くございますが、ご不明に思われることがございましたら遠慮なくお問い合わせくださいませ。

ご登場頂ける方 募集!

赤坂浄苑との出会い。そこには人それぞれに様々な物語があります。ご自身の生き方やご家族への思い、そして故人様の思い出など、ぜひ JOUEN でお聞かせください。

お気軽にご連絡ください▶ 0120-985-418

ありのままの自分でいられる場所へ

お店のすぐそばで見守ってくれる父
—— お参りでは、お父様とはどのようなお話をされていきますか。
有田様：父には商売のことなどいろいろと話しています。このお店は5年前にまだ父が元気だったときにオープンしました。赤坂で祖父の代から青果店を営んできた父はとても喜んでくれましたし、「商売は「商い」と読むのだから、飽きずに頑張れ」と励ましてくれました。有難いことに常連客の方にも恵まれ、なんとかここまで来ることができたわけですが、それでもコロナ禍ではダメージを受けました。そのときは、「どうか、この店を見守ってほしい」と父にお願いをしています。親子の会話ですから、もっとストレートな言い方ですが(笑)。

—— お店の名を「三代目ありた」とした理由は何でしょうか。
有田様：祖父と父の2代続いた青果店「有田」の名前は地元商店街では知らない者はいないほど、多くの人に親しまれていました。また、2人とも赤坂を愛し、地元の振興に貢献してきました。そういった先代たちの頑張りにも少しは近づきたいと思いい、この名を選びました。

—— お店の特徴はどんなところにありますか。
有田様：代々、青果店をやっていたから、素材にはこだわっていますし、お酒もいものを仕入れてあります。そして、自分で言うのも変ですが、料理もしっかり修業して



三代目ありた
店長 有田一人様

◀ お店の情報は次のページをご覧ください

地元の赤坂で見つけた。

人と人との絆を感じる場所



赤坂浄苑ご契約者様の素顔や暮らし方をリラックスした雰囲気の中で語っていただくこのコーナー。今回は赤坂浄苑のすぐそばで和食店「三代目ありた」を営む有田一人様にご登場いただきました。

決めた理由はスタッフの清々しい挨拶
—— 赤坂浄苑との出会いを教えてください。
有田様：父の建てた祖父・祖母たちのお墓が栃木県の郊外にありました。しかし、もともと父は足が悪く、高齢になってからのお参りが大変になりましたので、「墓じまい」を考えたようになっていました。そこで私も赤坂を含めて近場の高輪や三田、新宿御苑などの場所から探そうと思っていたのですが、赤坂浄苑と一緒に見学し父は即「ここにしよう」と決めました。「他の墓苑も見てから決めようよ」と私は言ったのですが頑として聞きませんでした(笑)。

赤坂浄苑を選んだ決め手を教えてください。
有田様：祖父の代から地元の赤坂で商売をし、この地に対する愛着もあつたと思いますが、それ以上に

スタッフの皆さんの挨拶や当時の所長の人柄がとても気に入ったようです。赤坂に華やかな都会のイメージを持つ人は多いかも知れませんが、地元の住民にとってここは人と人との絆を大切にしている街です。だからこそ、父は赤坂浄苑の人に対する接し方に深く感じる場所があったのだと思います。

—— 屋内墓苑であることに抵抗はなかったのでしょうか。
有田様：無事に納骨を済ませて、初めて自動搬送式のお墓にお参りしたときも、父はまったく違和感を持っていなかったようです。そんな父も2年前に亡くなり、今は赤坂浄苑で眠っています。店からすぐの場所にあるため、週に1回はお参りに行っていますが花の用意や掃除も不要で気軽にお参りできる屋内墓苑で良かったと思っています。外観も中の空間もとても洗練されていますし、父と同じくスタッフの皆さんの爽やかな対応に清々しさを感じています。友人なども連れてきて自慢したくなる墓苑ですね。



きました。でもそれは他の店でも変わらないでしょう。やはり、うちの自慢は気兼ねなく、ゆっくり料理やお酒を愉しめる場所だと思います。

—— そのために何か、工夫されていますか。
有田様：あえて何もしていません(笑)。一人ですべてやっています(笑)。一人で全部やっていますので注文を聞いてもすぐに対応できないところがありますが、お客様もそこはわかっています。お客様もそこはわかっています(笑)。一人ですべてやっています(笑)。

「お客様は神様」という言葉があるようですが、祖父や父は「それはちがう。お互いの相性が合って初めてお互いが神様になる」と言っており、家訓のようなものになっています。この店ではお互いが無理せず自然体でいられ、いつの間にか絆のようなものが出てきています。赤坂浄苑もありのままの自分でいられるほつと心が安らぐ場所だと思っています。

—— 本日はありがとうございます。

インタビューを終えて
有田様の気さくな語り口から赤坂浄苑への温かい思いが伝わるインタビューとなりました。

赤坂浄苑が おすすめする 散策マップ

ご参拝の後は赤坂散歩

昔を偲ぶ名所と現代が見事に融合する街「赤坂」を自由にお散歩してみませんか。

※掲載のお店は土日お休みの所も多いのでご注意ください。



三代目ありた

個室もご用意しております。

マスターの飾らない人柄とお任せコースが魅力のお店

マスターの元気いっぱい飾らない人柄が名物の和食店。夜はお任せのコース料理とこだわりのお酒で美味しく、リラックスできる時間を過ごせます。ランチはスタミナしょうが焼き定食、焼き魚定食、ハヤシライスのいつ来ても変わらない3品が人気。

ランチ	スタミナしょうが焼き定食	ハヤシライス	焼き魚定食
ディナー			

東京都港区2-0 赤坂3丁目2-0-6 川木ビルB1
 ランチ 11:30 ~ 14:00 (月~金)
 ディナー 17:30 ~ 23:00 (月~金) 定休日(土・日)



お盆は、日本の良き伝統・文化

お盆は夏の風物詩。地方によって7月と8月のちがいはありますが、今も私たちの暮らしに根付いています。

日本では、仏教が伝来する以前から「御霊(魂)祭り」など、祖先の霊を迎える風習がありました。そこに大陸から伝わった仏教にある「ウランバナ」の教えが結びついたので盂蘭盆会です。お盆は盂蘭盆会が略された言葉です。

その教えでは、お釈迦様の弟子の目連がお釈迦様に教えを請うことで、死後の世界で苦しむ母が成仏できたと説かれています。そしてその日が7月15日であったことから、この日は先祖供養の大切な日となったと伝えられています。

現在では、お盆の期間は13日から16日までのところが多いようです。これは「精霊迎え」や「精霊送り」など先祖を迎える習

慣があるからだと考えられます。

13日の夕方か夜に菩提寺とお墓に参り、祖先の霊を迎えることを「精霊迎え」と言います。この時に霊が迷わず帰ってこられるように焚くのが「迎え火」です。地方によってはお墓からの道筋に、たくさんの松明かりを灯すところもあります。そして、16日は送り盆です。この日に、祖先の霊を送り出すことを「精霊送り」と言います。この時に「送り火」を焚くことも広くおこなわれています。

お盆が庶民に普及していったのは日本人が持ち合わせていた「祖先を供養する心」と結びついたからでしょう。そういった日本の良き文化や風習があったからこそ「お盆」は今日まで受け継がれてきています。



現代スタイル
お盆飾り例

[仏壇]新型 重ネ 縁 檜 16号

伝統スタイル

床置きタイプのお仏壇 お盆飾り例

床に置くモダンデザインのお仏壇にマッチするお盆飾り。リビングルームにもおすすめです。お仏壇と盆棚を並べれば、華やかなお盆飾りに。

【お盆飾り例】
お盆のご準備ははせがわにご相談ください

- | | | | |
|----------------------|-------------------|-----------------|---------------|
| ① 提灯 (ちようちん) | ④ 盆棚 (きんらん) | ⑦ 十三仏 (じゅうさんぶつ) | ⑩ まこも (まこも) |
| ② 蓮の葉、水の子 (れんがはみづのこ) | ⑤ 金欄どんす (きんらんどんす) | ⑧ 高坏 (たかつき) | ⑪ 牛馬飾り (うまざり) |
| ③ 霊前灯 (れいぜんとう) | ⑥ 御霊具膳 (おりょうぐぜん) | ⑨ ほおずき | ⑫ 盆花用花瓶 |

春から夏へ。仏様のご縁を感じる催し、終活で役立つ動画を配信。

イベント配信 ▶ 4月2日(金) 01 花まつり「花御堂」お祀り 清らかな花御堂でお釈迦様の生誕を祝う

令和3年の「花まつり」も、赤坂浄苑1階エントランスに「花御堂」をお出しし、お釈迦様の誕生をお祝いました。お生まれになったルンビニの花園を模したお飾りに対し、来苑された皆様はその美しさに感激しながら手を合わせていらっしゃいました。



動画をご覧いただけます。

02 戒名授与式 4月25日(日) 厳粛な中にも和やかさを感じた仏道修行

仏門への入門式となる「戒名授与式」を4月25日に執り行いました。感染防止には細心の注意を払いながら9名の参加者の方が日常生活では経験できない仏道修行を体験。厳粛な中にもほっと心が和む場面があり、清々しさを感じることができます。



03 イベント配信 ▶ 5月22日(土) おひとりさま勉強会 死後のトラブルを防ぐプロのアドバイスを配信

以前より多くのお問い合わせがありました「おひとりさま」における終活の動画を配信しています。内容は「死後事務委任」や「遺言」という本人が亡くなった後に大切になるテーマ。どちらもお役立ていただけると思います。



第一部「死後事務委任」(しごじむいにん) 第二部「遺言」(ゆいごん) 公正証書遺言



ご契約者様ご紹介システム



大切な方と、ご紹介者様に、もれなく「グルメギフトカタログ」と「クオカード10,000円分」をプレゼントいたします。

グルメな方もきっと満足していただける名店の味を取り揃えました。老舗料亭や、一流ホテルのシェフの料理をご賞味いただけます。



新たな出会い・新たな体験・新たな発見 心まで満たされるイベント

赤坂浄苑 行事予定

7 JULY

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
			フラワーアレンジメント教室	友引	先負	仏滅
4	5	6	7	8	9	10
大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	赤口
お盆墓前供養			フラワーアレンジメント教室			zoom 盂蘭盆会 合同法要
11	12	13	14	15	16	17
先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝
			フラワーアレンジメント教室			
18	19	20	21	22	23	24
友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引
			フラワーアレンジメント教室	海の日	スポーツの日	
25	26	27	28	29	30	31
先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負
			フラワーアレンジメント教室			

皆様が参加したい イベントを 募集いたします！

下記、管理寺務所まで お問い合わせください



フラワーアレンジメント教室

8 AUGUST

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅
			フラワーアレンジメント教室		戒名授与式	
8	9	10	11	12	13	14
先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝
山の日	振替休日					坐禅会
15	16	17	18	19	20	21
友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引
			フラワーアレンジメント教室			
22	23	24	25	26	27	28
先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負
			フラワーアレンジメント教室			
29	30	31	1	2	3	4
仏滅	大安	赤口				



坐禅会



盂蘭盆会 合同法要

9 SEPTEMBER

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
			先勝	友引	先負	仏滅
			フラワーアレンジメント教室			
5	6	7	8	9	10	11
大安	赤口	友引	先負	仏滅	大安	赤口
			フラワーアレンジメント教室			坐禅会
12	13	14	15	16	17	18
先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝
			フラワーアレンジメント教室			秋彼岸墓前供養
19	20	21	22	23	24	25
友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引
	秋彼岸墓前供養		フラワーアレンジメント教室	秋彼岸合同法要		
26	27	28	29	30	1	2
先負	仏滅	大安	赤口	先勝		
			フラワーアレンジメント教室			



秋彼岸墓前供養

※状況により行事日程が変更となる場合がございます。

お問い合わせ 伝燈院 赤坂浄苑 管理寺務所 TEL.0120-358-053



赤坂浄苑 提携葬儀社のご紹介

ご遺族に温かく寄り添い、支えたい。

ご逝去のその時から始まる葬儀の準備。しかし、多くの人が何をどうしていいか、戸惑います。そんな時にご遺体のご搬送から各種手続き、そして葬儀、納骨まで安心してまかせられるのが孝行舎。ここでは葬儀の流れを例にどのようにご遺族に寄り添い、支えていくかをお伝えします。

赤坂浄苑での葬儀の流れ (一例)

- ご逝去**
もしもの時は… 孝行舎へご連絡ください
すぐにお迎えにあがります
24時間 365日受付 ☎ 0120-81-5548
- 故人様ご搬送 ご安置**
ご安置先は赤坂浄苑ほか、ご自宅や安置施設などご希望の所へ
- ご葬儀お打合せ**
ご要望に応じ丁寧に説明いたします
※写真・死亡診断書・印鑑を ご用意ください
・日程・葬儀内容の決定 ・関係者様へのご連絡
・役所手続き代行いたします
- ご納棺**
プロの納棺師によるメイク納棺
※ご希望でしたら納める愛用品をご用意ください
- お通夜**
2日葬はこちら 赤坂浄苑5階本堂にて返礼品お渡し4Fにて通夜ぶるまい
- 1日葬はこちら** 前日に生花祭壇の飾り付けを行います
- 葬儀・告別式**
赤坂浄苑 5階本堂にて
- ご出棺**
最期のお別れ後、ご出棺となります
霊柩車・ハイヤー・バスで火葬場へとむかいます
- 火葬場**
ご収骨後、赤坂浄苑に戻ります
- 初七日法要 (くりあげ)**
赤坂浄苑 5階本堂にて
- 納骨**
四十九日法要までお骨をご自宅にご安置をすることが難しい方は 当日に「納骨」もできます
当日納骨以外の方
- お斎(お食事)**
故人を偲び、ご参列いただいた方々に料理を振る舞い おもてなしを行います
- 散会**
当日納骨以外の方はご自宅などで、後飾りを行います

赤坂浄苑のお葬式は、提携葬儀社の株式会社 孝行舎へご連絡ください。赤坂浄苑でのご安置もすべておまかせください。

事前相談 もしもの時の不安がなくなり安心することができる事前相談をおすすめいたします。



動画をご覧いただけます。

孝行舎 株式会社 孝行舎 24時間365日受付 ☎ 0120-81-5548

深夜・早朝でもご遠慮なくお電話ください。24時間 365日 すぐに寝台車がお迎えにまいります。